

委員会

第4回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について、掲載しています。



▼総務委員会

◆議案第24号

龍ヶ崎地方塵芥処理組合の解散について

◆議案第25号

龍ヶ崎地方塵芥処理組合の解散に伴う財産処分について

◆議案第26号

龍ヶ崎地方衛生組合の解散について

◆議案第27号

龍ヶ崎地方衛生組合の解散に伴う財産処分について

◆議案第28号

稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について

委員より質疑があった後、採決の結果、賛成多数で「継続審査」としました。

総務委員会では「継続審査」となりましたが、本会議では「継続審査」は否決され賛成多数で原案のとおり可決されました。

委員 10年間で8名の退職者が予定されておりますが、新規採用はせずに委託業務を直営化するということですか。人員は削減されて、そのまま対応できるのでしょうか。

企画課長 今いる職員のスキルを上げる、また再任用で職員が引き続き業務に当たるといふことと考えられます。さらに、場合によっては構成自治体との人事交流なども考えながら、新たな組合の運営に当たりたいといった説明を受けております。

委員 10年間で地域手当を5%に統一していくということですが、それまでは同じ仕事をしても支給の割合が違ったため、職員の士気や意欲に懸念があります。10月13日の稲敷地方広域市町村圏事務組合の全員協議会において、地域手当の統一について問題視する意見や、まずは地域手当が同じ塵芥処理組合と衛生組合の2組合の統合からやるべきという意見があり、その他にも、しっかりと協議しなければならぬ点があると思しますので、「継続審査」といたします。

▼文教福祉委員会

◆議案第18号

令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第7号）

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 障がい者自立支援給付事業について、障がい者訓練等給付費の内容で特徴的なことがあればお聞かせ願います。

社会福祉課長 直近1年間の新たに開設された事業所のうち、小通幸谷町のグループホームがございまして。こちらは、特に重度の知的障がいや身体障がいに対応するグループホームとして設置されております。介護者が高齢になったことにより、在宅で生活されていた重度障がい者の方々がグループホームに入居されております。



▲障がい者の方が利用するグループホームが増加

委員 小中一貫校施設整備事業について、基本設計の委託料が大きく減額されていますが、整備方針に大きな変更が生じたものなのか、お聞かせください。

教育総務課長 整備方針に関しては、変更ありません。減額の理由は、請負業者が低価格で落札したためです。

▼環境生活委員会

◆議案第18号

令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第7号）

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 債務負担行為補正のAIオンデマンド交通実証実験支援業務委託契約について、どのような実験をしていくのかお聞きします。

都市計画課長 AIオンデマンド交通とは、市内に停留所を設置して、任意の停留所から目的の停留所まで乗り継ぎなしで行けるといふものです。

委員 通勤バス利用者が少ないところを中心に、予約に応じた公共交通の実証運行を行い、利用者のニーズを掴むとともに、コミュニティバスの代替性の可能性についても検討したいと思えます。

委員 実験の周知方法はどのようにされますか。

都市計画課長 まずは、市のホームページ等を利用して周知したいと思えます。まだ具体化はされていませんが、地域を回って、実際にコミュニティバスを利用されている方や高齢者等を中心に直接働きかけることを検討したいと思えます。



▲令和5年度にAIオンデマンドバスの実証実験を行います